

一雨ごとに暖かさがまし、八尾城跡の木立ちから吹き渡ってくる風の香りや高光川のせせらぎに春の息吹を感じるなど、神石小の周りも日一日と春めいてまいりました。この春、神石小を53年目に巣立つ卒業生は11名。卒業の日を迎えるにあたり、これまで成長を温かく見守ってきて下さったご家族の方々や地域の方々にあらためて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

私とは、6年生としての1年間だけの学校生活でしたが、とても頼もしく下級生の模範として学校生活をリードしてくれた最上級生でした。最近では「影のカリキュラム」と言われていますが、特に、神石小学校の日々の縦割り班掃除やトランペット鼓隊の担当、児童会活動などの伝統的な行動様式が、高い意識のまま、子どもたち同士の間で教え合い引き継がれてきているのは見事です。その素晴らしい伝統（影のカリキュラム）を、今年度も見事に引き継いでくれたのが11名の6年生です。この1年間、大変だった事と思います。最初は、うまくいかないことが多く自信をなくしていた時期もあったそうですが、学級の中で励まし合いカバーし合いながら、段々と達成感や自信を感じるようになってきたのでしょう。本当に立派に成長した1年間でした。卒業の日には、それぞれが威風堂々と卒業証書を受けてほしいと願っています。

これまで温かなご支援をくださいました地域の皆様、ありがとうございました。11名の卒業生は巣立っていきますが、これからも変わることなく本校の



児童を見守り励ましていただきますようお願い申し上げます。また、この1年間、学校に対しまして皆様から戴きましたご支援・ご協力に心から感謝申し上げます、年度終わりのご挨拶と致します。

学校長 爲平 祐嗣